

問

代表・一般質問を平成28年9月23日、26日、27日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

区の将来像を描く「新基本構想計画」の策定について

自由民主党 工藤 哲也 議員



基本構想・基本計画の浸透を

【問】①「協創力」は一般的には耳慣れない言葉であり、協働との違いも明確ではないが、なぜキーワードとしたのか。

②「活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち足立」にはどのような思いを込めているのか。

【区長】①熱心に審議の上決定を見た「基本構想答申」を尊重させていただいた。

②持続可能な地域社会を将来世代に確実につなげるべく全力を傾けていく責任と決意を込めた地域コミュニティ醸成の中核施設に

【問】綾瀬小学校新校舎は、あらかじめ校舎の一部を社会教育施設等、他の用途への転用も視野に入れ、設計段階より検討実施してほしいと考えるがどうか。

【教育長】将来学齢人口が減少することは明らかであるため、学校運営上支障が生じない範囲で、あらかじめ施設の一部を他の用途へ転用ができる柔軟な設計を行う必要があると考える。

区職員の接遇マナーの向上を

【問】友好自治体の鹿沼市の職員が優れた接遇マナーを実践している反面、当区でそのような光景は一般的でない。あいさつ励行をしていると聞いているが、具体的な取り組みと成果は上がっているのか。職員同士でも、

最低限会釈をするといったことをすべての職員に「足立区マナー」として徹底すべきと考えるがどうか。

政策経営」新たな取り組みとして、より視覚的にイメージし

【政策経営】新たな取り組みとして、より視覚的にイメージしやすいように、映像資料を全職員が視聴することを軸にしたプロジェクトを展開中である。今後も、すべての職員がおもてなしの心で対応できる「足立区マナー」を徹底していく。

千住西地区への深井戸の整備を

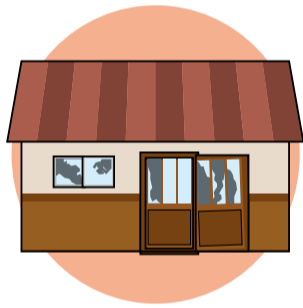
【問】千住西地区は地区防災計画の策定を積極的に進めているが、区内で優先的に深井戸の設置を進めるべきと考えるがどうか。また、設置場所は千住龍田町防災ひろばや千寿双葉小学校が適していると考えがどうか。

【危機管理】市街地内での給水がはるかに効率的であり、当地区は災害危険度が区内で特に高い地域であることから、深井戸設置の必要性を強く感じている。平成29年度に千住龍田町防災ひろば内を第一候補地とし、災害用深井戸を整備したいと考える。

空き家対策のさらなる推進を

【問】区は平成27年度に空き家の実態調査を実施した。今後の人口減少・少子高齢化社会の進展により、空き家の増加が懸念されるが、調査結果を踏まえ、今後どのような対策を行うのか。

【建築】調査から空き家の約7割が昭和56年6月以前の旧耐震基準であったこと、さらに建物所有者自身に様々な意向があることがわかった。今後、所有者意向にあわせて耐震補強、除却、利活用、適正管理に働きかけていく。



制服価格と就学援助の改善を

【問】①義務教育という観点から、各中学校において制服に価

防災対策と支援が必要な子どもたちへの施策の充実を

自由民主党 藤沼 壮次 議員



災害用語をわかりやすい言葉に

【問】避難勧告と避難指示、避難所と避難場所の違いがわかりにくい。避難勧告との違いを明確にするため、避難指示は避難命令と変えるべきではないか。また、避難所と避難場所が混同しやすいので、表現を工夫すべきではないか。



【危機管理】住民等の受け手に

格差が生じている現状に対して、区はどのような分析、評価をしているのか。

②児童が小学校在学中に、入学準備金として準要保護世帯へ支給すべきと考えるが、現在の問題点と今後の方向性は。

「教育長」①制服は地域に愛される学校の個性の一つとして、

地域に根付いている現状がある。一方、価格差が生じていることも事実であり、保護者に過剰な負担をかけてはならないと認識している。

②保護者の負担も大きく、援助を行う時期を改善する必要がある。平成29年度から、児童が中学校に入学する前の2月末頃に支給できるよう準備を進める。

とっては日常的に使用する平易な用語でなければ理解できない。定められた法律用語をそのまま使うのではなく、最も伝わりやすい言葉を時代、対象、状況に応じて的確に使い分けることが必要である。

不登校児童・生徒への対策を

【問】八王子市立高尾山学園は、不登校児童・生徒のための教育課程の弾力化等を実施する学校で、開校以来、教育的効果は高く、大きな成果を挙げていると聞く。区としても不登校対策のメニューの一つとして学校を開

討の結果、区が学校を設置しない場合、区内の廃校になった学

校を活用し、不登校対応の私立中学校を誘致してはどうか。

【教育長】適応する力を育み、元の学校への復帰を目指す、現在のチャレンジ学級や別室登校等が基本であると考え。高尾

まちづくりと発展・子どもたちの輝く未来を!!

自由民主党 かねだ 正 議員



区民の利便性を担保する工夫を

【問】西新井駅は区のほぼ中央部に位置しており、区民の利便性を担保していく様々な工夫が必要だが、改札に向かうための階段は急で、お年寄りや障がい者にはかなりの負担である。エレベーターはあるが、多くの利用者

者が使用するには不便であるため、以前より西口エスカレーター設置という要望が出ているが、その検討状況はどうか。



【問】保護者の勤務形態の多様化や共働きが進む中、保護者の出勤が子どもの登校前になつてしまい、低学年の子どもが一人で鍵を閉めて登校するケースがあり、子どもの安全を考える上では大きな問題である。区は下校後の子どもの居場所づくりについては対策を進めているが、登校前の子どもの居場所の問題についてはどう考えるか。

【貧困対策】子育て支援体制の充実と様々なタイプの子どもの居場所づくりが必要だと考えている。地域の子どもたちを地域で力育てていくことを基本的な考えとし、学校、地域、PTA、NPO団体等と連携・協力して、子どもの居場所づくりの活動が継続的に行われるよう後方支援を行っていく。

大学病院誘致の早期実現と学校教育の更なる充実を!!

自由民主党 鹿浜 昭 議員



大学病院移転への交通網整備を

【問】①バス交通の充実等が重